2021．7～9 №57

かなしん景況レポート

浦賀の渡し船

浦賀支店
山崎職員　撮影

横須賀市浦賀で運行されている渡し船で、港に隔てられた東西の浦賀の町を行き来する人にとっての交通手段となっています。奉行所が置かれて間もない享保10年（1725年）頃からの長い歴史があります。

目　次

景気動向	地域経済(全業種総合)	2
	業種別経済	6
	特別調査	18
お客様景況インタビュー	株式会社　湘南ライセンス　「～　お客さまの楽しいひとときのために　～」	19
トピックス	「神奈川県の景況感について」	3
	「経済指標について：日銀短観（全国企業短期経済観測調査）」	9

調 査 概 要

調査時期	令和3年8月13日から令和3年9月1日まで
調査地域	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡葉山町・鎌倉市・横浜市・川崎市・藤沢市・茅ヶ崎市 大和市・綾瀬市・高座郡寒川町
調査方法	調査員による面接聞き取り方式又は対象企業先による直接記入方式
分析方法	各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（D.I.）を中心にして分析を行いました。

全業種総合天気図

	2020年10～12月	2021年1～3月	2021年4～6月	2021年7～9月	2021年10～12月 来期予想
全業種総合	☂	🌧	🌧	🌧	☂
製造業	☂	🌧	☂	☂	☁
卸売業	☂	🌧	🌧	🌧	☂
小売業	🌧	🌧	🌧	🌧	🌧
サービス業	🌧	🌧	🌧	🌧	🌧
建設業	☁	🌧	☂	☂	🌤
不動産業	☁	☁	☁	☁	☁

低調 ← 天気図 → 好調

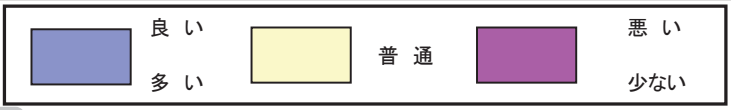
🌧　☂　☁　☁　🌤　☀　☀

この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。

かながわ信用金庫
かなしん

全業種総合　　回答企業　492社（回答率：98.4%）

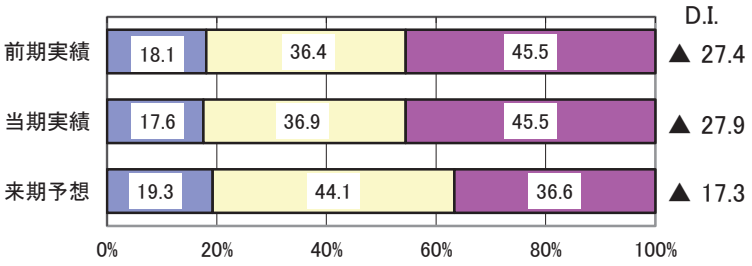
当期実績（2021年　7～　9月期実績）
来期予想（2021年10～　12月期予想）



1．業　況

当期の業況判断D.I.は▲27.9と、対前期比0.5ポイントの小幅低下となり、前回調査時における今期見通し（▲21.8）を6.1ポイント下回りました。業種別に見ると、製造業、卸売業、建設業でマイナス水準ながらも改善となり、小売業、サービス業、不動産業は低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲17.3と、10.6ポイント2桁改善をする見込みです。

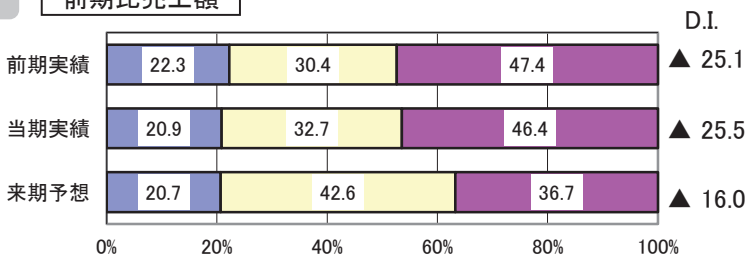
業　況



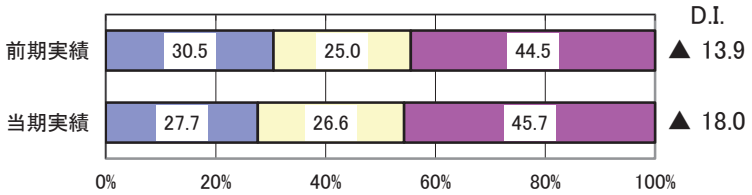
2．売上額

当期の売上額判断D.I.は▲25.5と、対前期比0.4ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると、製造業、卸売業、小売業でマイナス水準ながらも改善となり、サービス業、不動産業は低下、建設業は横ばいとなりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲18.0と、4～6月期から4.1ポイントの低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲16.0と、9.5ポイント改善をする見込みです。

前期比売上額



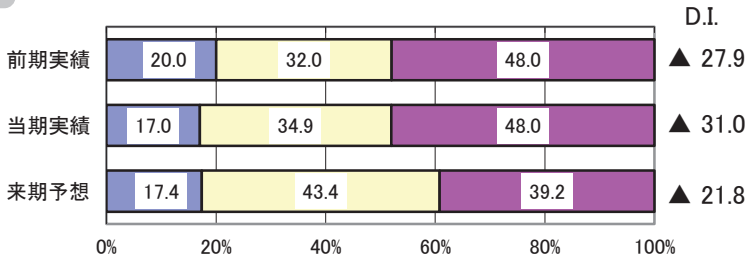
前年同期比売上額



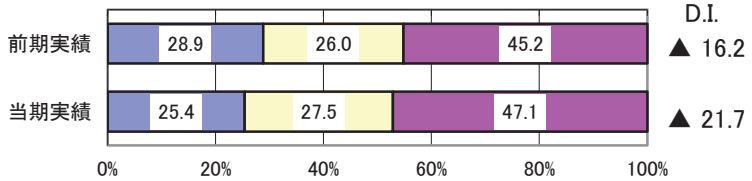
3．収　益

当期の収益判断D.I.は▲31.0と、対前期比3.1ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると、卸売業、小売業、サービス業でD.I.が▲40超の数値となり厳しい水準となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲21.7と、4～6月期から5.5ポイントの低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲21.8と、9.2ポイント改善をする見込みです。

前期比収益

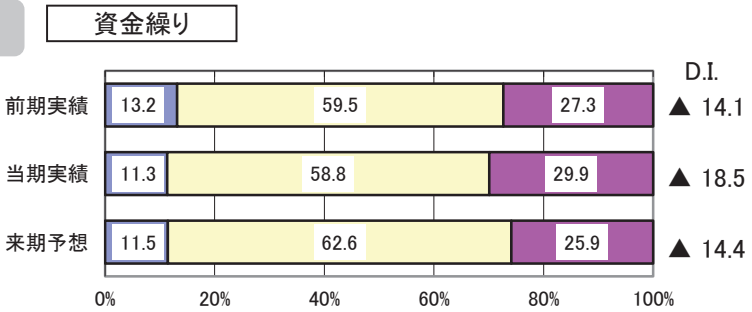


前年同期比収益



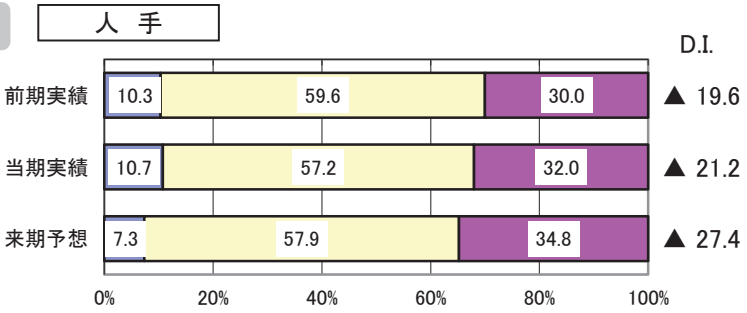
4. 資金繰り

当期の資金繰り判断D.I.は▲18.5と、対前期比4.4ポイントの低下となりました。業種別に見ると、サービス業、不動産業で改善となり、他の業種は低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲14.4と、4.1ポイント改善をする見込みです。



5. 雇　用

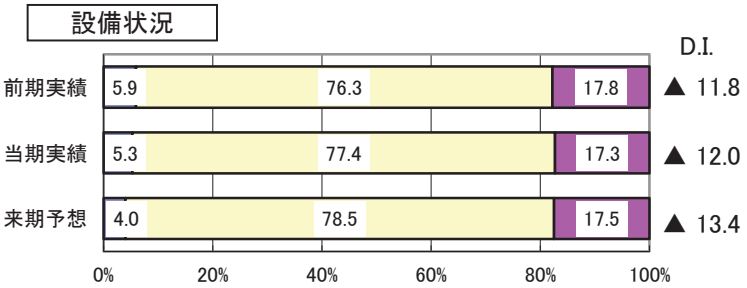
当期の雇用判断D.I.（過剰-不足）は▲21.2と、対前期比1.6ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると、小売業、建設業で小幅改善となりましたが、他の業種は低下となりました。D.I.数値で比較すると、特に建設業が厳しい水準となっています。全業種の来期予想D.I.は▲27.4と、人手不足感はさらに強まる見込みです。



※雇用判断D.I.（過剰－不足）　マイナスは人手不足

6. 設備状況

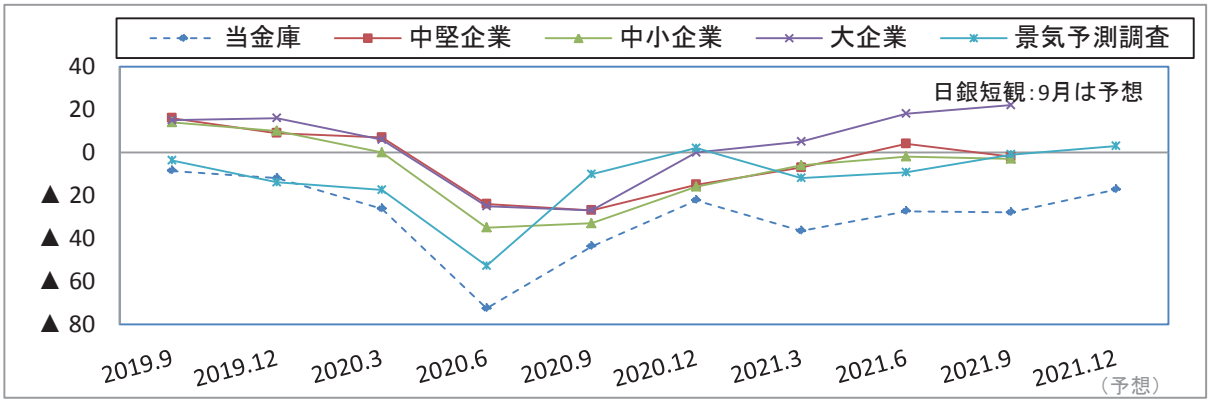
当期の設備状況判断D.I.は▲12.0と、対前期比0.2ポイントの小幅低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲13.4と、不足感は小幅ながらさらに強まる見込みです。



神奈川県の景況感について

神奈川県金融経済概況(2021年9月分)では、「新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している」と、前回判断が据え置かれました。項目別では〈生産〉が引き下げられ、その他の項目は据え置かれました。また、神奈川県の経済情勢報告(令和3年7月判断)の総括判断は、「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」と前回判断が据え置かれました。項目別では〈生産活動〉、〈設備投資〉、〈企業収益〉は引き上げられました。さらに全国単位では、9月の月例経済報告の基調判断を「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている」として、判断が引き下げられました。このように神奈川県、全国ともに新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが続いています。

日銀短観（企業規模別）、法人企業景気予測調査(横浜財務事務所)、当金庫業況DIの推移

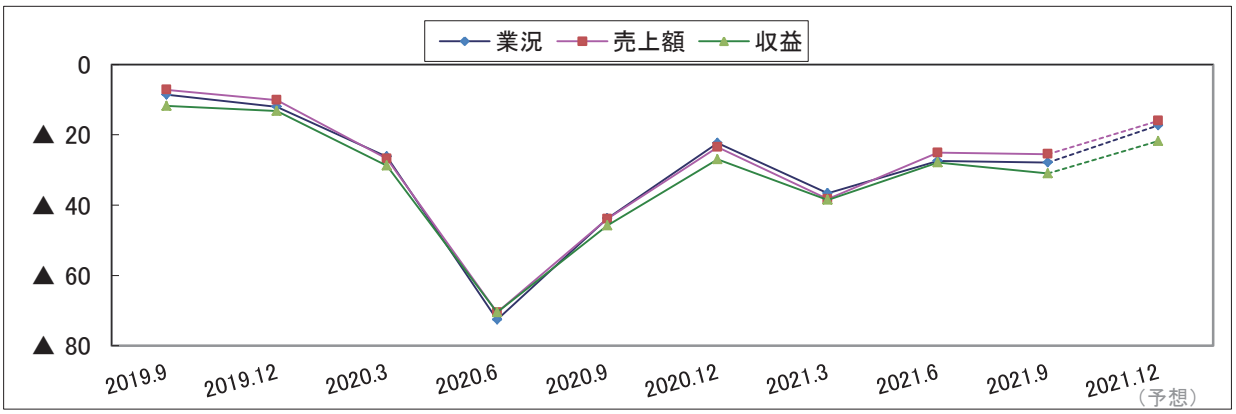


「日銀短観（神奈川県分）」（2021年9月分）は2021年10月1日発表予定のため、本レポート作成時点では上記短観の調査結果は確認できていません。発表済みの各種経済統計等において、景況の持ち直しが続くものの一部で弱さも示されていることより、小幅な低下と上昇が混在していた前回調査予測値同程度もしくは低下の可能性もあると思われます。

「法人企業景気予測調査」（令和3年7～9月期）は、2004年度の調査開始以降で最大の低下幅である前期比35.3ポイント低下を示した2020年4～6月期の景況判断指数▲52.8が底となりました。2020年7～9月期、同10～12月期の2期連続改善でプラス水準となりましたが、2021年1～3月期で低下、再度マイナス水準になりました。2021年4～6月期、2021年7～9月期で2期連続改善し、2021年10～12月期予測も改善を予想しています。

「当金庫景気動向調査」は、従前より振れ幅に違いはあるものの、法人企業景気予測調査と近い推移を示し、2021年4～6月期までは同様な推移でした。今回結果（2021年7～9月期）は小幅低下を示しており、2021年10月～12月期予測で再度改善を予想する結果となりました。

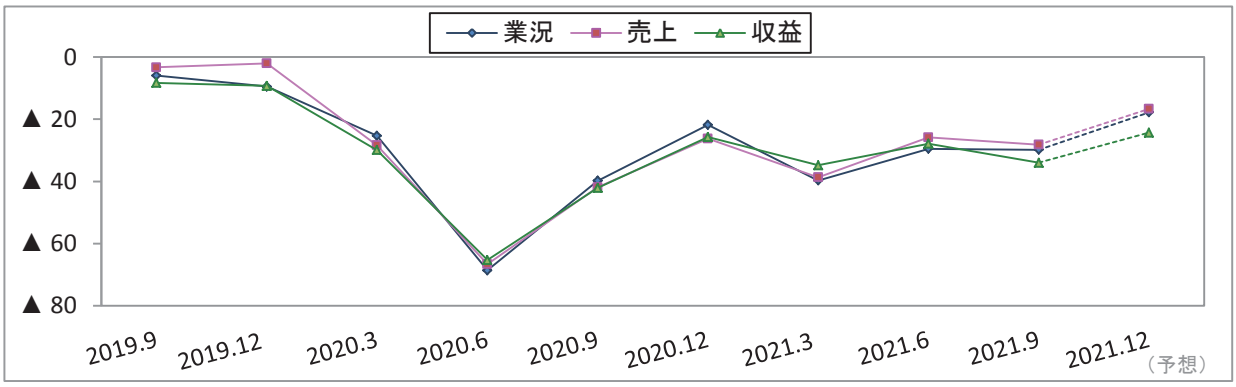
業況・売上額・収益D.I.の推移（全業種総合：当金庫）



2021年7～9月期の業況判断D.I.は▲27.9と、対前期比0.5ポイントの小幅低下となり、前回調査時における今期見通し（▲21.8）を6.1ポイント下回りました。売上額判断D.I.は▲25.5と、対前期比0.4ポイントの小幅低下、収益判断D.I.は▲31.0と、対前期比3.1ポイントの小幅低下となり、業況同様、今期見通しを下回りました。「鋼材価格の高止まりや納期の長期化が継続しており、素材の調達が最重要課題となっている」（製造業）、「仕入価格が毎月のように値上がりになり、得意先への説明に時間が取られます」（卸売業）、「コロナ以前でも個人消費は低迷気味であったが、ステイホームでさらに個人消費にブレーキがかかっている」（小売業）等、前期同様にコロナ禍の影響で経営が厳しい旨のコメントが寄せられています。先行きを不安視するコメントもありますが、来期予想は各指標とも改善を見込んでいます。

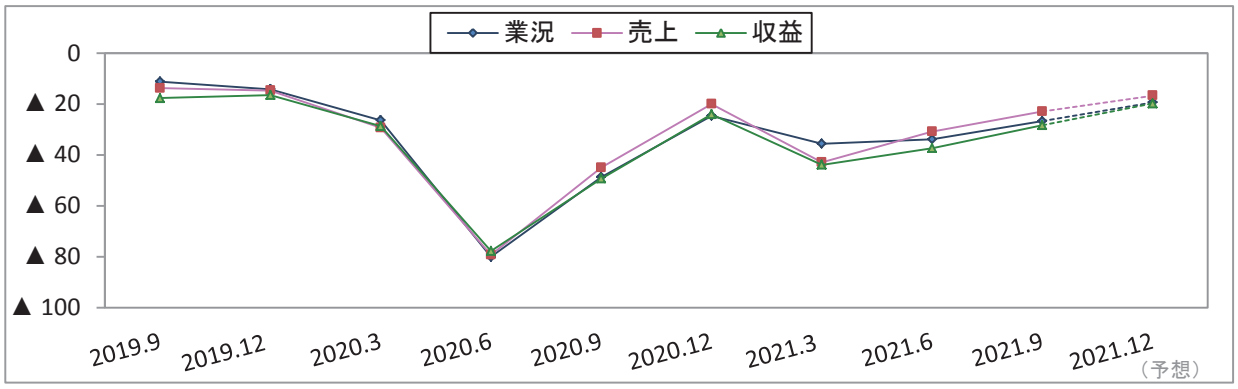
地区別の業況・売上・収益の推移（当金庫）

横須賀地区



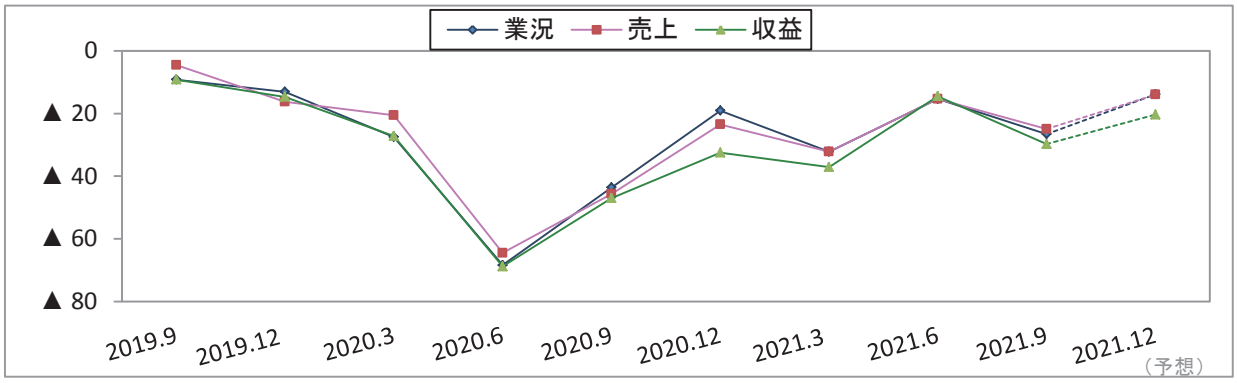
横須賀地区の2021年7～9月期の業況判断D.I.は▲29.8と、対前期比0.3ポイントの小幅低下でほぼ横ばいとなり、売上、収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D.I.は▲17.8と、12.0ポイント2桁改善する見込みで、売上、収益についても改善を見込んでいます。

横浜地区



横浜地区の2021年7～9月期の業況判断D.I.は▲26.7と、対前期比7.2ポイントの改善となりました。売上、収益についても改善となり、唯一改善した地区となりました。来期予想については、業況判断D.I.は▲19.4と、7.3ポイント改善し、売上、収益についても改善を見込んでいます。

藤沢地区



藤沢地区の2021年7～9月期の業況判断D.I.は▲26.6と、対前期比11.2ポイントの2桁低下、売上、収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D.I.は▲13.9と、12.7ポイント2桁改善する見込みで、売上、収益についても改善を見込んでいます。

製 造 業　　回答企業　95社（回答率：100.0%）

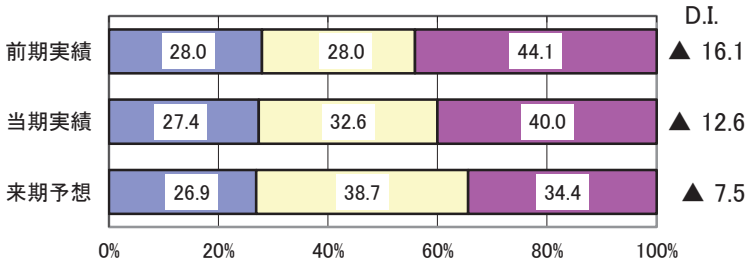
当期実績（2021年　7～　9月期実績）
来期予想（2021年10～　12月期予想）

良い　多い　　普通　　悪い　少ない

1. 業　況

当期の業況判断D.I.は▲12.6と、対前期比3.5ポイントの小幅改善となり、前回調査時における今期見通し（0.0）を12.6ポイントと大きく下回りました。来期予想については、D.I.は▲7.5と、5.1ポイントさらに改善をする見込みです。

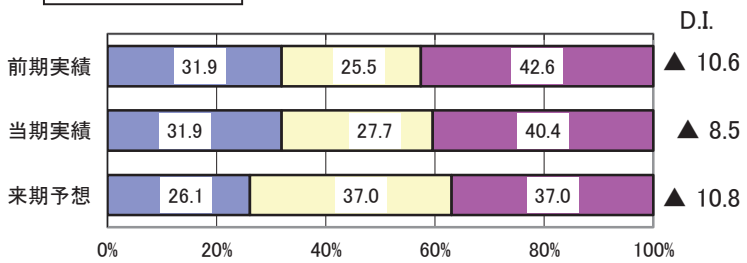
業　況



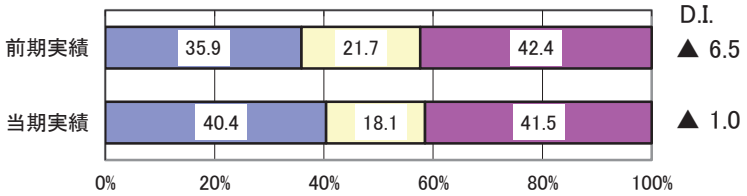
2. 売 上 額

当期の売上額判断D.I.は▲8.5と、対前期比2.1ポイントの小幅改善となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲1.0と4～6月期から5.5ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲10.8と、2.3ポイント小幅低下をする見込みで、全業種の中で、唯一低下を見込む業種となりました。

前期比売上額



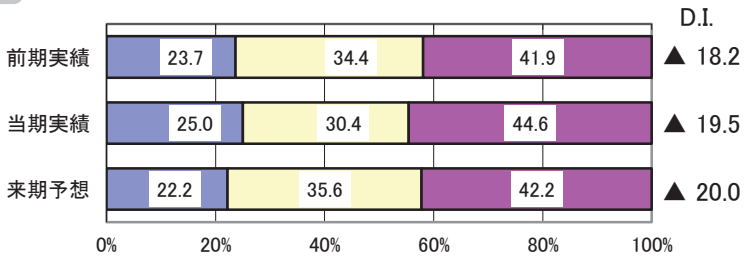
前年同期比売上額



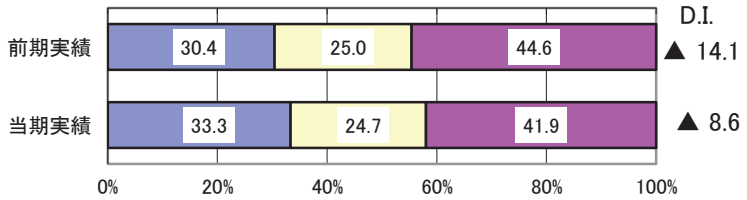
3. 収　益

当期の収益判断D.I.は▲19.5と、対前期比1.3ポイントの小幅低下となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲8.6と、4～6月期から5.5ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲20.0と、0.5ポイントさらに小幅低下をする見込みです。

前期比収益

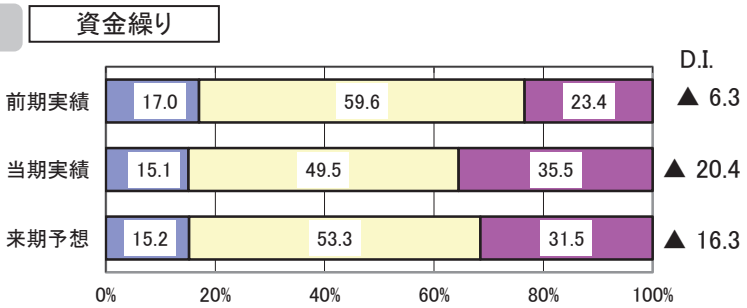


前年同期比収益



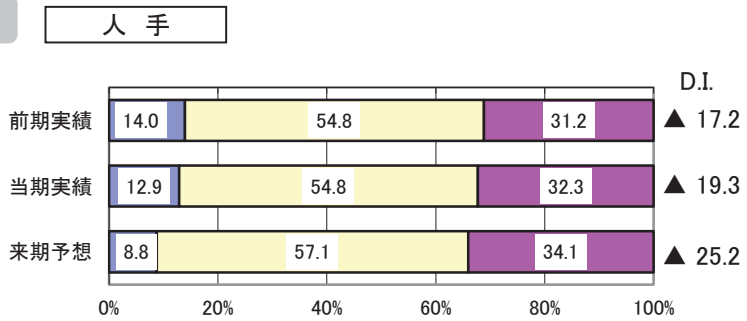
4. 資金繰り

当期の資金繰り判断D.I.は▲20.4と、対前期比14.1ポイントの2桁低下となり、低下幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲16.3と、4.1ポイント改善をする見込みです。



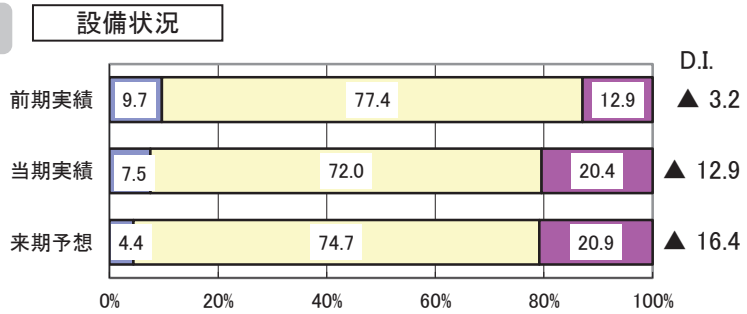
5. 雇　用

当期の雇用判断D.I.（過剰−不足）は▲19.3と、対前期比2.1ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D.I.は▲25.2と、人手不足感はさらに強まる見込みです。



6. 設備状況

当期の設備状況判断D.I.は▲12.9と、対前期比9.7ポイントの低下となり、低下幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲16.4と不足感はさらに強まる見込みです。

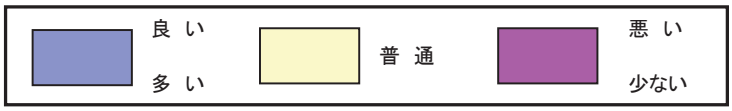


調 査 先 の コ メ ン ト

○いくらか回復が見られますが、相変わらずの低調であることに変化がない状態です。
○景況は戻りつつあるが、コロナ禍の影響で生産の抑止が見受けられ経営に圧迫感が生じている。
○鋼材価格の高止まりや納期の長期化が継続しており、素材の調達が最重要課題となっている。
○原材料を発注しても品物がなく納品が間にあっていない。原材料が入荷すると繁忙になる。
○ここのところ売上減少が続いており、先行きが見通せない。
○現在は事業再構築を進めています。大型工作機械を工場に導入して新規案件の受注活動ができればいいと考えています。
○主要取引先が半導体の供給不足の影響で生産計画や生産ラインに支障をきたしていて、結果的に当社部品の納品にも影響が出ている。
○競争の激化の中、メーカーと共同で特許取得を行い、他の追随を許さない環境づくりを考えています。常にアンテナを張って、すき間産業でのビジネスチャンスはないか真剣に考えていきます。
○コロナの影響が大きい。早期の終息を願う。
○本当に厳しい状況になってきました。
○コロナの影響がまだ続きそうだが、政権が変わった時に補助金や助成金の対応が心配である。
○業況が悪い中、先行きが見通せないので不安である。
○得意先に大手企業が多く早くコロナが終息しないか期待しており、企画の回復に努めたいと思う。

卸 売 業　　回答企業 47社（回答率：97.9%）

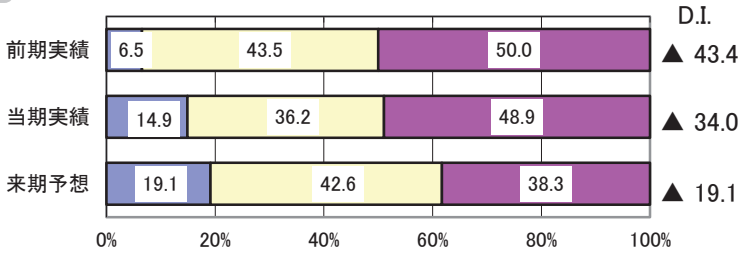
当期実績（2021年 7～ 9月期実績）
来期予想（2021年10～ 12月期予想）



1. 業　況

当期の業況判断D.I.は▲34.0と、マイナス水準で小売業、サービス業に次いで厳しい水準ながら、対前期比9.4ポイントの改善となり、改善幅が最も大きな業種となりました。前回調査時における今期見通し（▲40.4）を6.4ポイント上回りました。来期予想については、D.I.は▲19.1と、14.9ポイントさらに2桁改善をする見込みです。

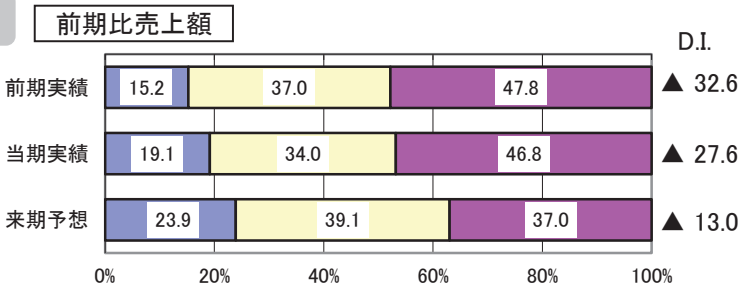
業 況



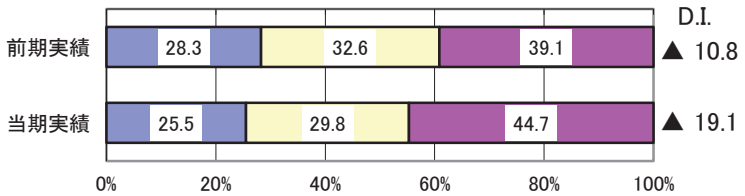
2. 売 上 額

当期の売上額判断D.I.は▲27.6と、マイナス水準で小売業、サービス業に次いで厳しい水準ながら、対前期比5.0ポイントの改善となり、改善幅が最も大きな業種となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲19.1と、4～6月期から8.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D.I.は▲13.0と、14.6ポイントさらに2桁改善をする見込みです。

前期比売上額



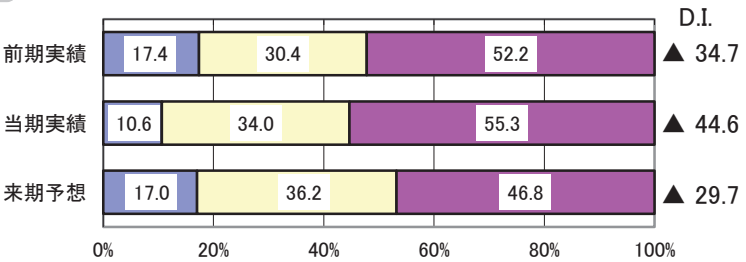
前年同期比売上額



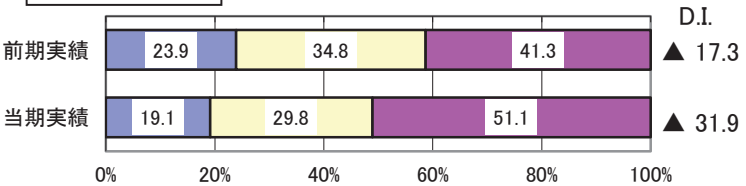
3. 収　益

当期の収益判断D.I.は▲44.6と、対前期比9.9ポイントの低下となり、最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲31.9と、4～6月期から14.6ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲29.7と、14.9ポイントの2桁改善をする見込みです。

前期比収益

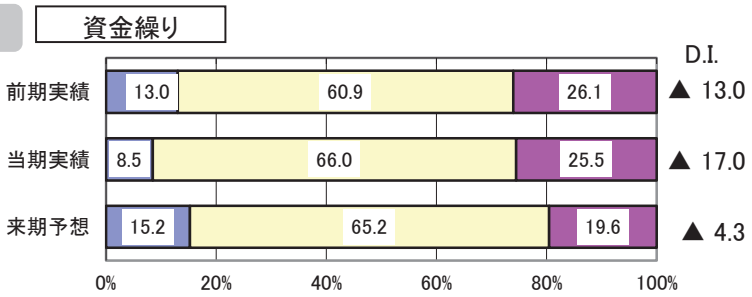


前年同期比収益



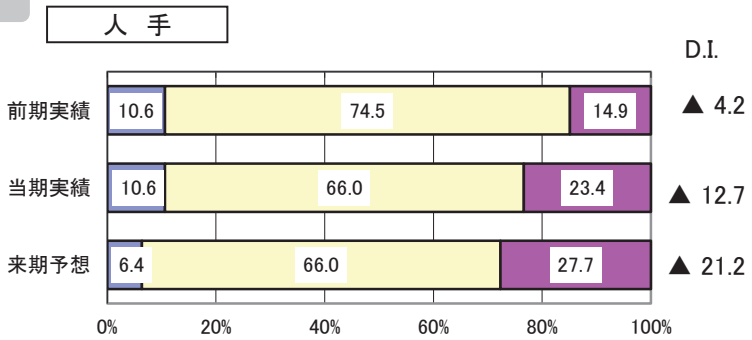
4. 資金繰り

当期の資金繰り判断D.I.は▲17.0と、対前期比4.0ポイントの低下となりました。来期予想については、D.I.は▲4.3と、12.7ポイント2桁改善をする見込みで、改善幅が最も大きな業種となりました。



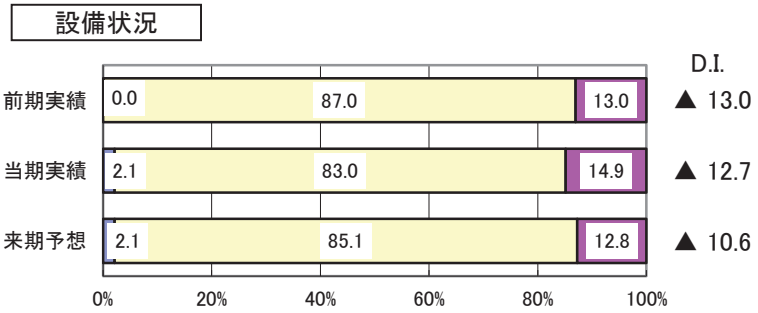
5. 雇　用

当期の雇用判断D.I.（過剰-不足）は▲12.7と、対前期比8.5ポイントの低下となり、低下幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲21.2と、人手不足感はさらに強まる見込みです。



6. 設備状況

当期の設備状況判断D.I.は▲12.7と、対前期比0.3ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D.I.は▲10.6と、不足感はさらに小幅緩和をする見込みです。



調 査 先 の コ メ ン ト

○ワクチン接種は進んでいるが感染拡大が続いていて、経済にさらなるダメージを与えると思い大変心配である。

○ウッドショックの影響で木材価格の上昇が大きく、売上増だが仕入増でもあり手元資金が不足傾向である。

○先行きが見えない状況が続いています。

○コロナ禍が長く、平常を忘れてしまいそうである。

○仕入価格が毎月のように値上がりになり、得意先への説明に時間が取られます。また、リピート品も欠品になることがあり、以前より納期の打ち合わせにも手間取っています。

○全く先が読めずこのような経験は過去になかったので、どうしたら良いか判断が付きません。

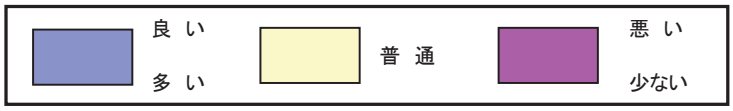
経済指標について：日銀短観（全国企業短期経済観測調査）

日銀短観は企業の景況感を把握する代表的な指標であり、日本銀行が全国約1万社に対し四半期ごとに統計調査を実施しています。この調査は対象企業からの回答率が高く、分析作業が精緻であることから信頼性が高いとされています。なかでも「業況判断ＤＩ」は、過去の景気循環（景気の山・谷）と過去の業況判断ＤＩ数値のピーク・ボトムの時期が概ね一致していることから、景気との連動性が非常に高い傾向にあるとされ、景気の実態・先行きを判断する上で重要な指標として広く活用されています。また、同調査で得られた各種計数の動きは、同調査以降に公表される各種経済統計などに対し、先行的な動きを示すことが多いと言われています。

小 売 業

回答企業　118社（回答率：100.0%）

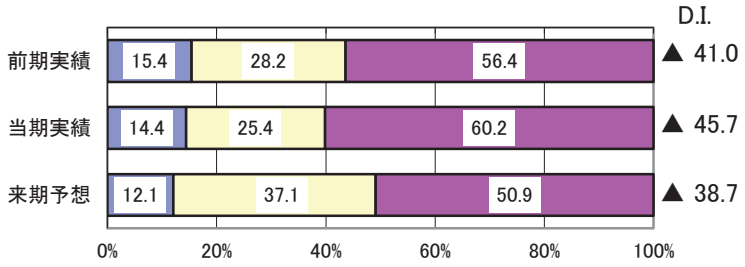
当期実績（2021年　7～　9月期実績）
来期予想（2021年10～　12月期予想）



1. 業　況

当期の業況判断D.I.は▲45.7と、対前期比4.7ポイントの低下となり、最も厳しい水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し（▲37.6）を8.1ポイント下回りました。来期予想については、D.I.は▲38.7と、7.0ポイント改善をするものの、今期同様、最も厳しい水準の業種となる見込みです。

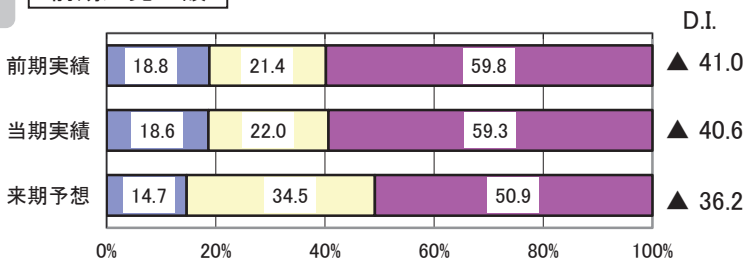
業　況



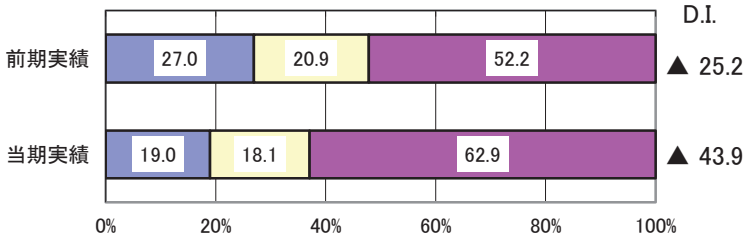
2. 売 上 額

当期の売上額判断D.I.は▲40.6と、対前期比0.4ポイントの小幅改善となりましたが、最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲43.9と、4～6月期から18.7ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲36.2と、4.4ポイント改善をするものの、今期同様、最も厳しい水準の業種となる見込みです。

前期比売上額



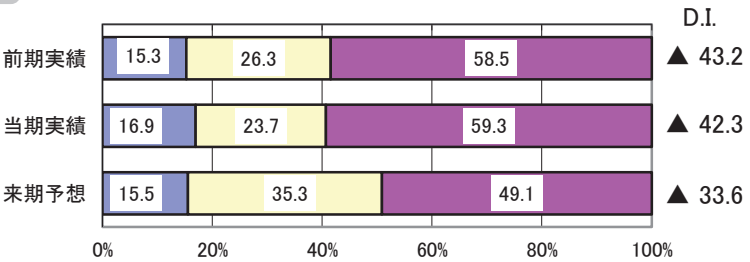
前年同期比売上額



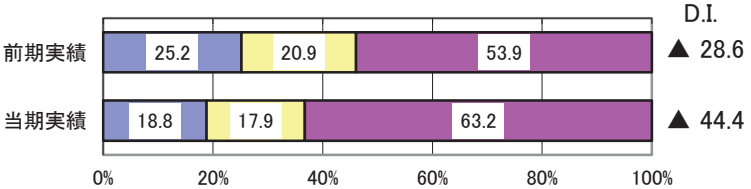
3. 収　益

当期の収益判断D.I.は▲42.3と、対前期比0.9ポイントの小幅改善となりましたが、厳しい水準となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲44.4と、4～6月期から15.8ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲33.6と、8.7ポイント改善をするものの、サービス業に次いで厳しい水準の業種となる見込みです。

前期比収益

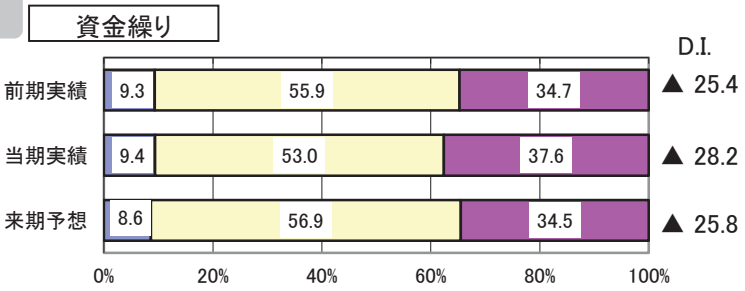


前年同期比収益



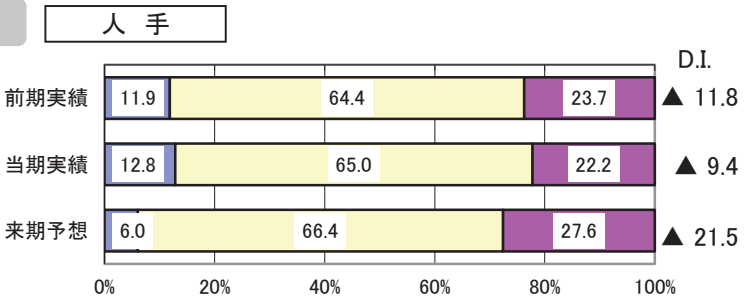
4. 資金繰り

当期の資金繰り判断D.I.は▲28.2と、対前期比2.8ポイントの小幅低下となり、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲25.8と、2.4ポイント小幅改善をするものの、今期同様、最も厳しい水準の業種となる見込みです。



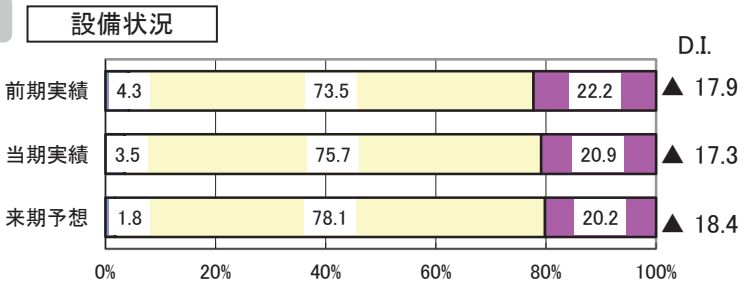
5. 雇　用

当期の雇用判断D.I.（過剰-不足）は▲9.4と、対前期比2.4ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D.I.は▲21.5と、人手不足感は強まる見込みです。



6. 設備状況

当期の設備状況判断D.I.は▲17.3と、対前期比0.6ポイントの小幅改善となりましたが、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲18.4と、不足感は小幅に強まる見込みです。

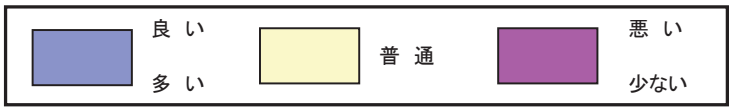


調 査 先 の コ メ ン ト

○石油類の仕入価格が上昇しているが、価格転嫁はできていない。
○コロナ禍の影響で大企業の景気回復は来年度の予想。コロナが終息しないと商売が成り立たない。
○ワクチン接種は始まっているがコロナの終息にはまだ時間がかかることを覚悟している。慎重なお客さまは外出を控えている状態で、こちらから外出を促すことはためらわれる。
○コロナのためか、仕入価格の上昇が続いていて、利益は少しずつ減っているようだ。
○コロナがいつ終息するのか不透明で、全く先を読めない状況が続いている。コロナが終息しないと前に進むことが難しい。
○お盆期間における長雨と緊急事態宣言には頭を抱えてしまいました。日々の売上の小さな前年比減少が、決算時期で大きな減少となることが心配です。生き残るために先手先手で戦っています。
○コロナ禍もあり売上等がやや減少していますが、仕入、経費の削減等で乗り切っていきたい。
○オリンピック会場のため、車両の通行制限等の理由で観光客が減り、売り上げも減った。一方、海水浴場は開いていたので閉鎖するよりは人流があり、売上的にはプラスに作用した。
○現在の市場動向は個人経営には厳しい。観光地周辺の状況はあまり良くなく見通しが立てられない。
○コロナ以前でも個人消費は低迷気味であったが、ステイホームでさらにブレーキがかかっている。
○コロナのため売上が減少している。
○今、人を雇い入れると様々な制約が出てきて大変になるので、今いる人達でできる範囲内の仕事をしていったほうが無駄がない。アルバイトの賃金がもう少し低ければ長い時間働いてもらいたいが、今の状態では本当に忙しい時間しか雇えない。

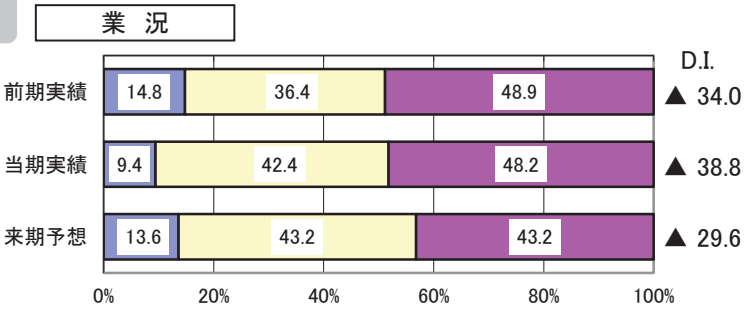
サービス業　　回答企業　85社（回答率：95.5%）

当期実績（2021年　7～　9月期実績）
来期予想（2021年10～　12月期予想）



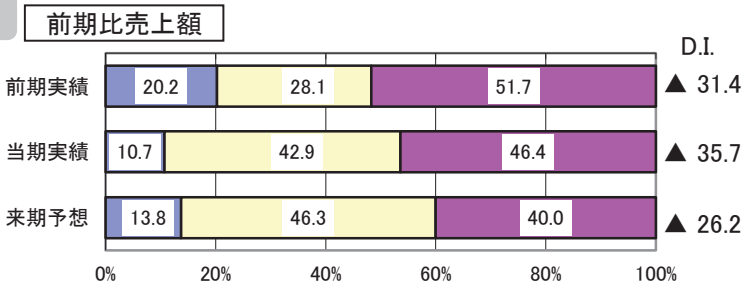
1.　業　況

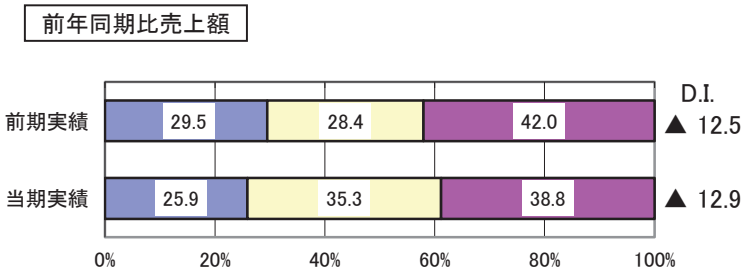
当期の業況判断D.I.は▲38.8と、対前期比4.8ポイントの低下となり、前回調査時における今期見通し（▲26.4）を12.4ポイントと大きく下回りました。来期予想については、D.I.は▲29.6と、9.2ポイント改善をする見込みです。



2.　売 上 額

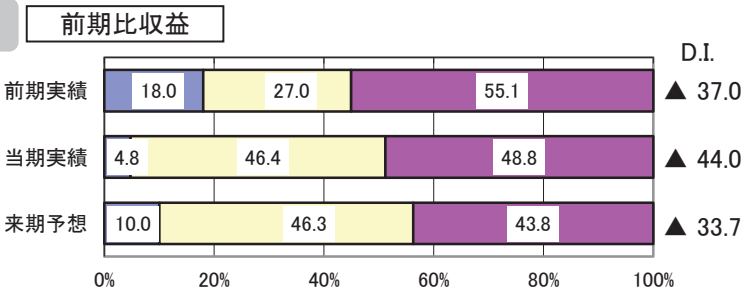
当期の売上額判断D.I.は▲35.7と、対前期比4.3ポイントの低下となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲12.9と、4～6月期から0.4ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D.I.は▲26.2と、9.5ポイント改善をする見込みです。

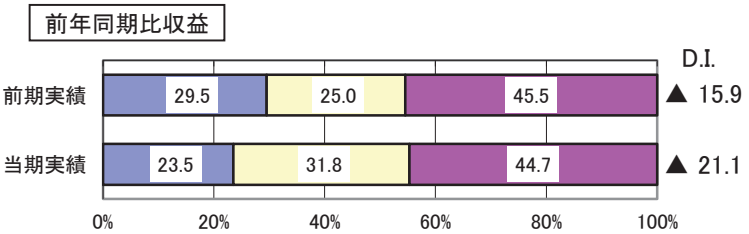




3.　収　益

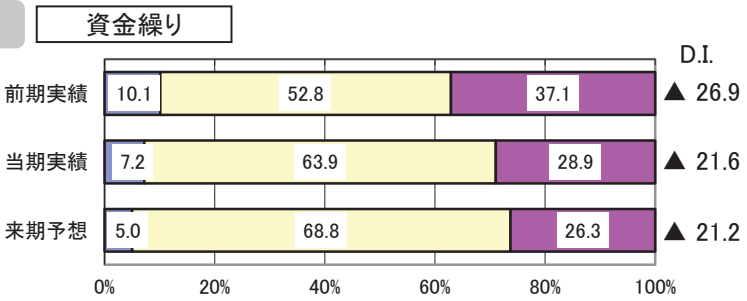
当期の収益判断D.I.は▲44.0と、対前期比7.0ポイントの低下となり、卸売業に次いで、厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲21.1と、4～6月期から5.2ポイントの低下となりました。来期予想については、D.I.は▲33.7と、10.3ポイント改善をするものの、最も厳しい水準の業種となる見込みです。





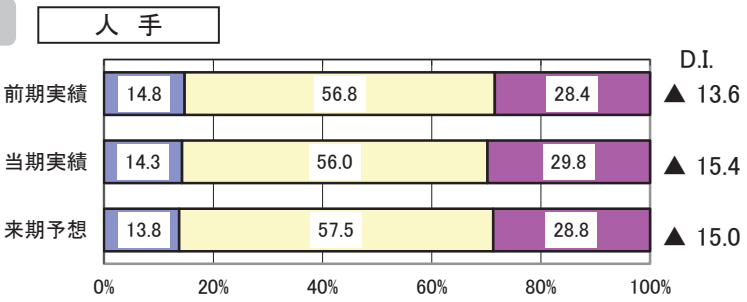
4. 資金繰り

当期の資金繰り判断D.I.は▲21.6と、対前期比5.3ポイントの改善となり、最も改善幅が大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲21.2と、さらに小幅改善をする見込みです。



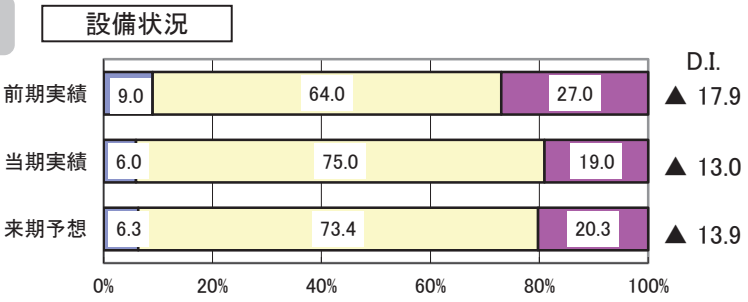
5. 雇　用

当期の雇用判断D.I.（過剰－不足）は▲15.4と、対前期比1.8ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D.I.は▲15.0と、人手不足感は小幅に緩和する見込みです。



6. 設備状況

当期の設備状況判断D.I.は▲13.0と、対前期比4.9ポイントの改善となり、改善幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲13.9と、不足感は小幅に強まる見込みです。



調 査 先 の コ メ ン ト

○コロナ感染者が増加する中、お客さまが外出されないので困っています。売上も低下し、やり繰りをしながら頑張るしかないです。

○タクシー業においてはさらなる緊急事態宣言の発出により、夜間の乗客数は壊滅的な状況となり厳しい経営となっているが、新事業を目指し計画を進めており前向きな姿勢で事業に臨めている。

○コロナによって各企業の不安が感じられる。すべての職種で売上が減少しているため、どのようにしていくか毎日会議をしている。（人材派遣業）

○コロナの終息が全く見えない中、大手飲食店、ホテル、観光業者は経営の逼迫に喘いでいる、大手旅行会社などは融資はもちろん資本注入まで受けるようになっているが、この流れが中小の事業者にも波及していかないと体力のない観光業者や飲食店はどんどん淘汰されてしまう。

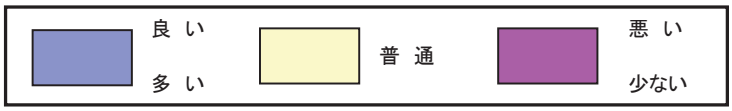
○コロナ禍で全体的に少しずつ厳しくなってきている。新たな対策が必要と思われる。

○高齢者の自粛傾向が強くなっている。安心感が広く社会に浸透しないと地域経済が活性化しない。

○行政主導での最低賃金の上昇は反対です。財政出動など積極的な経済政策を希望しています。

建 設 業　　回答企業　95社（回答率：99.0%）

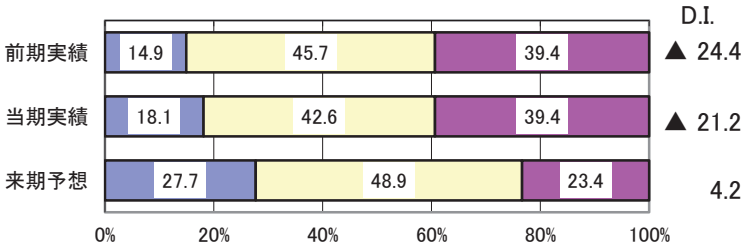
当期実績（2021年　7～　9月期実績）
来期予想（2021年10～　12月期予想）



1. 業　況

当期の業況判断D.I.は▲21.2と、対前期比3.2ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し（▲11.2）を10.0ポイントと大きく下回りました。来期予想については、D.I.は4.2と、25.4ポイント大幅に改善をし、改善幅が最も大きな業種となり、全業種の中で唯一プラス水準に転じる見込みです。

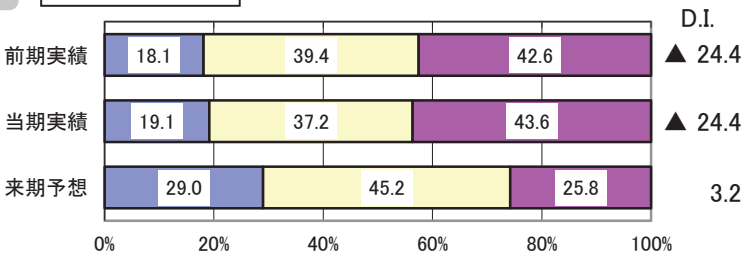
業　況



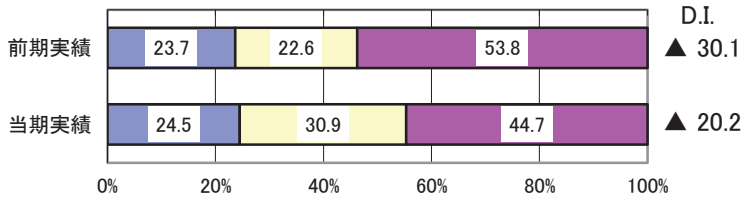
2. 売 上 額

当期の売上額判断D.I.は▲24.4と、前期同数値の横ばいとなりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲20.2と4～6月期から9.9ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は3.2と、27.6ポイント大幅に改善をし改善幅が最も大きな業種となり、全業種の中で唯一プラス水準に転じる見込みです。

前期比売上額



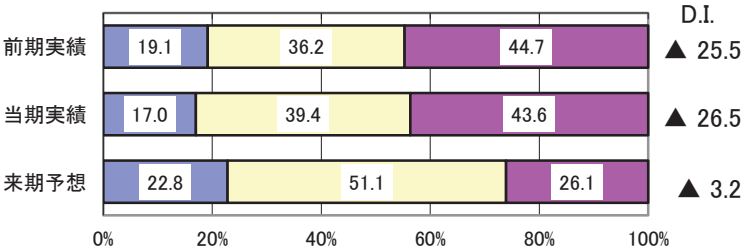
前年同期比売上額



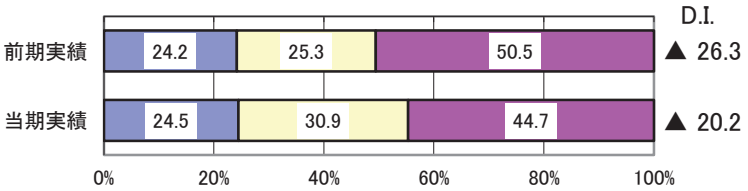
3. 収　益

当期の収益判断D.I.は▲26.5と、対前期比1.0ポイントの小幅低下となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲20.2と、4～6月期から6.1ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲3.2と、23.3ポイント大幅改善をし、改善幅が最も大きな業種となる見込みです。

前期比収益

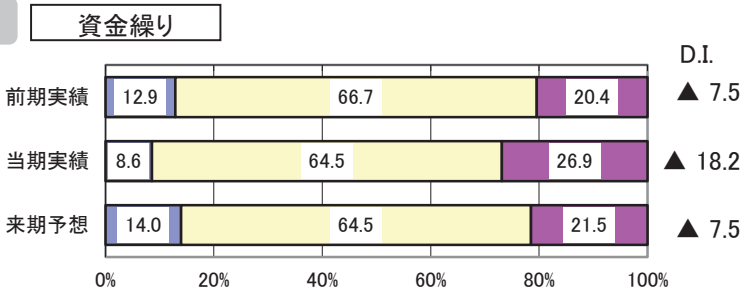


前年同期比収益



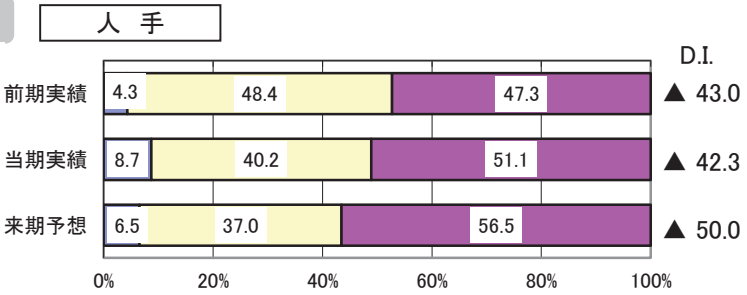
4. 資金繰り

当期の資金繰り判断D.I.は▲18.2と、対前期比10.7ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲7.5と、10.7ポイントの2桁改善をする見込みです。



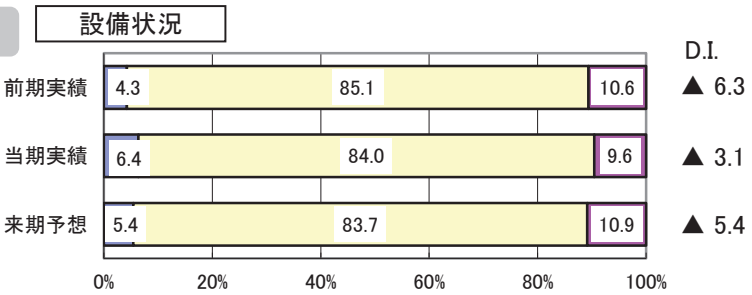
5. 雇　用

当期の雇用判断D.I.（過剰－不足）は▲42.3と、対前期比0.7ポイントの小幅改善となりましたが、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲50.0と、7.7ポイント低下し、今期同様最も厳しい水準の業種となる見込みです。



6. 設備状況

当期の設備状況判断D.I.は▲3.1と、対前期比3.2ポイントの改善となり、マイナス水準ながらも、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲5.4と、2.3ポイント低下し、不足感は小幅に強まる見込みです。



調 査 先 の コメント

○コロナウイルスの終息が見えない中で、この状況がいつまで続くのか注視している。得意先に製造業が多いので、半導体等の不足による景気への影響も注視している。

○前期においてはコロナ禍の中、当社はまれにみる収益を上げることができ、必要経費を落とすこともなく多額の税金を支払うことができた。9月からの仕事量もまずまず入ってはいるが、前期並みに利益が上がるかは不安材料も多い。

○ワクチン接種は進んでいますが感染者数が減らず、日常生活、地域経済への影響は昨年より多大だと感じます。その中で、プレミアム付商品券の2度目の発行を知りました。横須賀市民や事業者に対する応援券であり、年末に向かって頑張ろうと思えるニュースです。

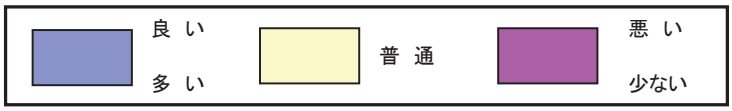
○コロナ禍で困っています。

○コロナ禍によりホテル等の物件が減少した。反面、テレワークの推進により郊外型の集合住宅が増加中である。また、地方から首都圏への労働人口流入の流れがあり、当社では地方の広告会社に人材募集の広告を出した。建設業独特であるが年度前半はヒマだが後半になるほど多忙になる。官庁の仕事の平準化を図っていただきたい。

○政府の対策に左右されない会社になるようにしたい。

不動産業　　回答企業　52社（回答率：96.3%）

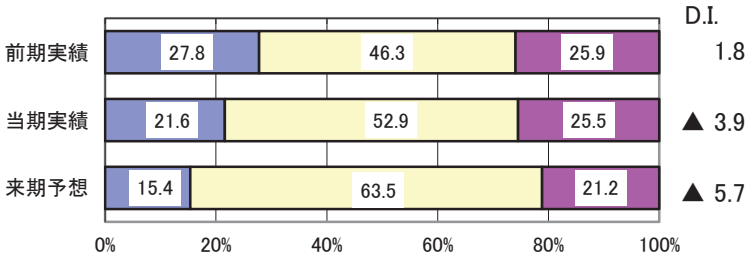
当期実績（2021年　7～　9月期実績）
来期予想（2021年10～　12月期予想）



1．業　況

当期の業況判断D.I.は▲3.9と、対前期比5.7ポイント低下し、マイナス水準に転じましたが、最も良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し（▲18.5）を14.6ポイントと大きく上回りました。来期予想については、D.I.は▲5.7と、1.8ポイントさらに小幅低下をする見込みです。

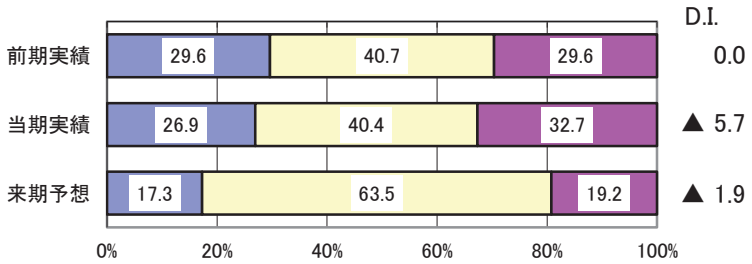
業　況



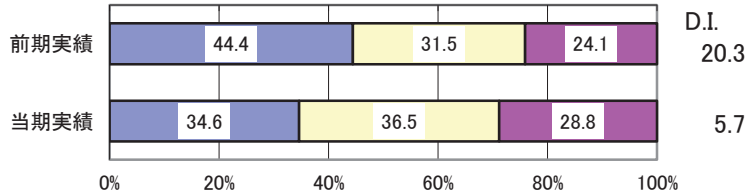
2．売上額

当期の売上額判断D.I.は▲5.7と、対前期比5.7ポイントの低下となりましたが、マイナス水準ながらも最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は5.7と、4～6月期から14.6ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲1.9と、3.8ポイント改善をする見込みです。

前期比売上額



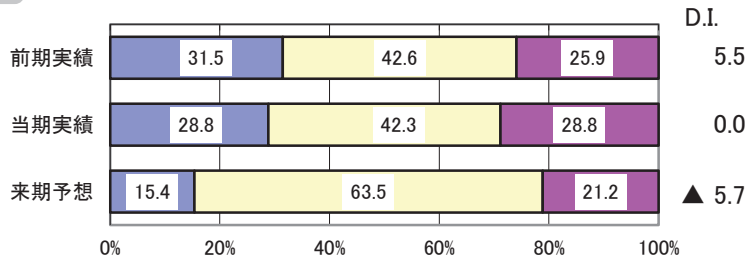
前年同期比売上額



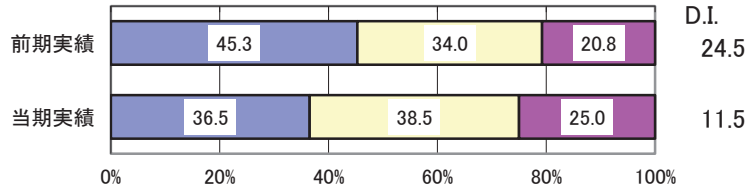
3．収　益

当期の収益判断D.I.は0.0と、対前期比5.5ポイントの低下となりましたが、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は11.5と、4～6月期から13.0ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲5.7と、5.7ポイント低下し、マイナス水準に転じる見込みです。

前期比収益

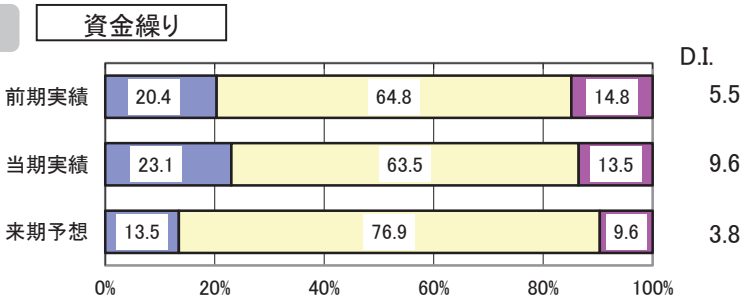


前年同期比収益



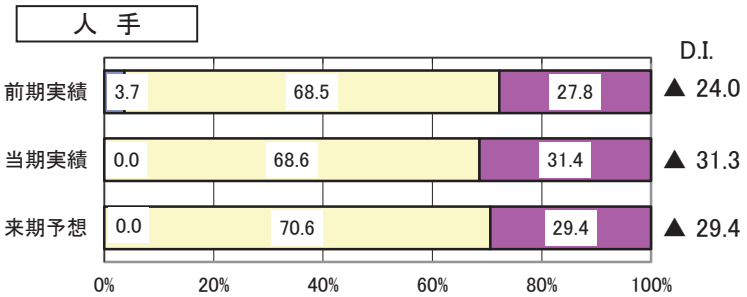
4. 資金繰り

当期の資金繰り判断D.I.は9.6と、対前期比4.1ポイントの改善となり、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は3.8と、5.8ポイント低下するものの、プラス水準は維持する見込みです。



5. 雇　用

当期の雇用判断D.I.（過剰－不足）は▲31.3と、対前期比7.3ポイントの低下となり、建設業に次いで厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲29.4と、人手不足感は小幅に緩和するものの、厳しい水準が続く見込みです。



調査先のコメント

○コロナ感染拡大による販売への影響は限定的であり、今後、ウッドショックによる影響が懸念される。

○ウッドショックによる住宅資材の値上がりで商談に影響が出ている。あるハウスメーカーから坪当たり5万～7万円の値上げ要求を受けた。

○不動産は売却物件よりも購入者が多い状況で建築コストも上がっているが、いずれは、価格の調整時期がくると思われる。

○ワクチン接種が思いのほか進んでおらず、仕事でも、営業（取引）先に感染者が増えてきていると聞いている。昨年来からの住宅購入ラッシュがひと段落し、落ち着いてはいるものの、従前からの湘南エリアの人気は相変わらずで、需要に対して供給が追い付いていないところがある。都内都心近郊では、相変わらず、投資・投機的な部分での不動産取引は活発なようで、湘南エリアもそういった需要が潜在的にある。

○仲介業は忙しいが、相変わらず商品物件が少ない状況が続いている。

○コロナウイルス感染症の影響から7月以降は景気が徐々に回復すると思われたが、さらに感染が拡大し、建築材料の不足及び価格高騰により工事の着工が減少となっている。よって、土地の売買も減少しており7～9月期は景気の低迷時期と思っている。

○昨年の緊急事態宣言以降、湘南地区の不動産に顧客ニーズが合致し、この地域の不動産業界は活況となっている。昨年の後半から物件（商品）の不足状況が顕著に表れ、売買・賃貸ともに新築物件に申し込みが殺到するような状況が続いている。物件の不足状況から適正価格を逸脱しかねない価格での取引も見られ、1990年代バブルの状況に似ていると思われる。

○コロナの終息が見えず、先行きに不安がある。

○木材の入手難と価格上昇が懸念材料である。

特別調査 ・・・・・・・・・・・・「中小企業の雇用環境について」

1. 御社では、人手の状況をどのように認識していますか。

人手の状況をどのように認識しているかについては、「適正」との回答が214社で最も多く、回答企業の約47％を占めた。人手不足の場合は、「現場作業関係」が146社と最も多く、次いで「営業・販売関係」が32社で多かった。人手過剰の場合は、「現場作業関係」が30社と多かった。不足と回答した企業は合計194社で、過剰と回答した企業は合計44社であった。

2.政府はこれまで、最低賃金を毎年3%程度、引き上げてきました（2020年を除く）。最低賃金の引き上げが、御社の雇用に与える影響はありますか。

最低賃金の引き上げが雇用に与える影響については、正規社員への影響では、「変わらない」が333社と最も多く、「増やす」が52社、「減らす」が9社だった。「もともと正規社員はいない」は26社だった。非正規社員への影響では、「変わらない」が204社と最も多く、「増やす」が42社、「減らす」が27社だった。「もともと非正規社員はいない」は94社だった。

3.御社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。

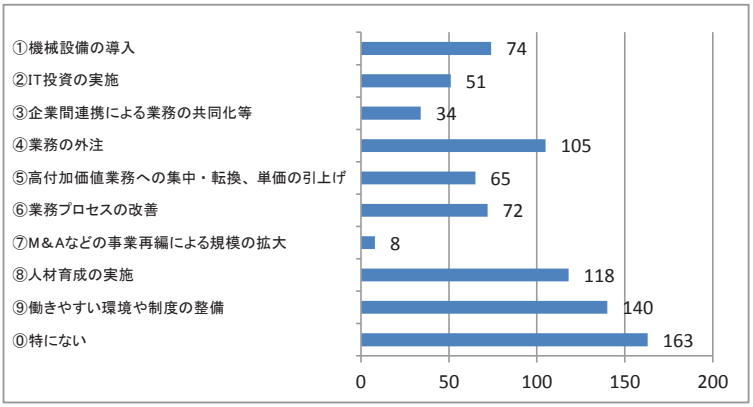
人材確保のための職場環境改善策については、「人材育成」が129社、次いで「賃金引上げと労働生産性の向上」が126社、「長時間労働の是正」が119社、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」が110社、「高齢者の就業促進」が98社と続いた。「特にない」との回答が162社あり、最も多い回答であった。

（最大3つまで複数回答）

4.人材確保が難しくなるなか、御社では、生産性向上に向けた取組みをしていますか。

生産性向上に向けた取組みについては、⑨「働きやすい環境や制度の整備」が140社と、実施している取組みの中では最も多かった。次いで⑧「人材育成の実施」が118社、④「業務の外注」が105社と続いた。①「機械設備の導入」が74社、⑥「業務プロセスの改善」が72社と他の取組みにも比較的多い回答があり、様々な取組みを行っていることが伺える回答となった。一方、⓪「特にない」との回答が163社と最も多かった。

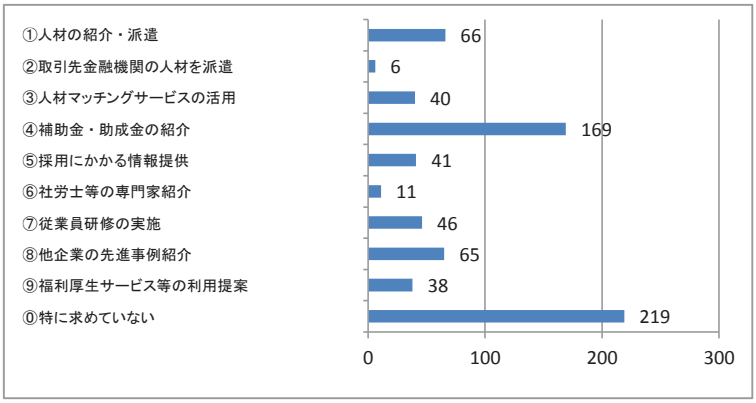
（最大3つまで複数回答）



5.御社では、人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますか。

人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることについては、④「補助金・助成金の紹介」が169社と、求めている取組みの中では最も多く、次いで①「人材の紹介・派遣」が66社、⑧「他企業の先進事例紹介」が65社と続いた。一方、⓪「特に求めていない」との回答が219社と最も多かった。

（最大3つまで複数回答）



お客さま景況インタビュー

インタビュー日付
2021 年 8 月 26 日

株式会社　湘南ライセンス

～お客さまの楽しいひとときのために～

代 表 者　：　会　　長　　野口　捷代
　　代表取締役社長　野口　貴史
本社所在地　：藤沢市片瀬海岸１－１２－１７
ＣＡＦＥ店舗：湘南江の島本店（江の島サムエルコッキング苑内）
『LONCAFE』　海老名ＳＡ上り店（東名高速道路海老名上りＳＡ内）
　　中目黒店（目黒区上目黒１－２２－１２）
　　横浜ベイサイド店（三井アウトレットパーク横浜
　　ベイサイド内）
　　越谷レイクタウン店（イオン越谷レイクタウン内）
創　　業　：昭和 60 年５月
事 業 内 容　：小型船舶操縦士資格取得の教習、ﾎﾞｰﾄ･水上ﾊﾞｲｸ（ｼﾞｪｯﾄ）のﾚﾝﾀﾙ事業等、ｾｰﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝの企画及び立案運営、CAFE 経営、ﾚﾝﾀﾙｽﾀｼﾞｵの運営他

Ⅰ．経営方針・モットー・特色

当社は、小型船舶操縦士資格取得の教習・レンタルボート等のマリンスポーツ事業と、日本で初めてのフレンチトースト専門店『LONCAFE』を運営しています。『LONCAFE』は地元湘南江の島のほか県外へも店舗展開しています。当社のモットーは「お客さまの楽しいひとときのために」であり、満足度の高いサービスを提供できる経営を社員一同心掛け、その先に「リピートしたい、友達や家族に紹介したい」とのお客さまの声をいただけたら幸いです。

Ⅱ．事業概要及び景況について

1. マリンスポーツ事業

当社で行っている小型船舶操縦士資格取得の教習、ボート・水上バイクのレンタル等のマリンスポーツ事業は業界景況、当社業況ともに順調に推移しており、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は少なめと感じています。これは同感染症の拡大により、「密」を避ける取り組みのなか、屋外で出来るスポーツの一つとして、マリンスポーツへの関心が高まったからだと思われます。さらに、オリンピックのセーリング競技が江の島で開催されたことにより、マリンスポーツへの関心が更に高まることを期待しています。

2. ＣＡＦＥ事業『LONCAFE』

将来に向けた事業展開を検討しているタイミングで、新規開園する「江の島サムエルコッキング苑」への飲食店出店のお話を藤沢市より頂きました。同苑への出店は、江の島の頂上という立地条件やいくつかの制約がありました。来店を見込むお客さまの嗜好やニーズを徹底的に分析し、条件や制約を乗り越えるため試行錯誤した結果、日本初のフレンチトースト専門店『LONCAFE』をオープンすることが出来ました。『LONCAFE』は様々なメディアで取り上げて頂き、知名度を高めて頂いたことが県外進出に繋がり、また、来店頂いた多くのお客さまが投稿下さるＳＮＳでの発信により評判が高まり新たに来店されるお客さまを呼び込む大きな原動力になっています。現在では、江の島本店以外の店舗もメディアに取り上げて頂くことが増えており、これからも来店下さるお客さまが増えていくことを期待しています。

飲食業として新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありますが、当社は異なる環境での店舗展開を行っていることから、売上の大きな減少とはなりませんでした。観光地での営業は人出が減少したものの、商業施設内フードコート等商業地域で営業する店舗では、人流に大きな変化がないことより、今のところ影響はそれほど大きくないと感じています。

Ⅲ. 今後の事業展開について

マリンスポーツ事業では、これからも地元江の島に来ていただけるお客さまを大切にもてなし、『LONCAFE』では、創業から変わらぬ味と新しい商品の開発により、お客さまのハッピーなひとときの提供に努めてまいります。

令和3年9月16日現在

本レポートは、情報提供のみを目的とした標記時点における当金庫の考え方を示したものです。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いします。また、この資料は、当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

発　行　かながわ信用金庫
住　所　〒238-0004　横須賀市小川町7番地
TEL　046－826－1515(平日9:00〜17:00)
編　集　株式会社　かなしんトータルサービス
住　所　〒235-0023　横浜市磯子区森1丁目10番10号
TEL　045－263－6363(平日9:00〜17:00)

かながわ信用金庫 かなしん